

実習目的： 在宅療養者およびその家族への看護の果たす役割を認識し、対象の個性にあった看護が実践できる基礎的能力を養う。

実習目標：

1. 実習目的に照らし合わせ、自分の学習課題に沿って学習を行う。
2. 在宅療養者とその家族に対する看護活動の実際を理解する。
3. 在宅療養者とその家族を支えるための社会資源の種類・活用状況について知る。
4. 学習成果と今後の課題を明確にする。

	コメント	コメント	優 良 可 不可
実習指導者	印	担当教員	印
			点/100点

学習活動 (学生が実際に 行う看護実習場面)	学習活動における 具体的な評価規準	評価資料	評価基準			ポイント	自己評価		指導者・教員
			A 1) 10点 2) ~7) 15点	B 1) 6点 2) ~7) 9点	C 1) 4点 2) ~7) 6点		中間	最終	
1. 実習目的に照らし合わせ、自分の学習課題に沿って学習を行っている。	1) 実習目的、目標を達成するための自らの学習プロセスを考え、必要な学習を行っている。	ビジョン・ゴールシート 観察 対話 ノート ポートフォリオ	必要な学習を行い、実習で活用している。	必要な学習を行っているが、実習で活用するには、課題が残る。	必要な学習を行っていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険制度 ・介護保険制度 ・訪問看護 (定義、目的) ・訪問看護ステーション (機能、活動内容) ・施設内看護と訪問看護の特徴 ・社会資源の種類、特徴 ・地域包括ケアシステム、ケアマネジメント ・受け持ち療養者の病態 			
2. 在宅療養者とその家族に対する看護活動の実際を理解する。	2) 訪問先の療養者・家族の状況から必要な看護を考えている。	観察 対話 記録用紙 ・基本情報 ・分析	療養者・家族の状況から必要な看護の意味を考え、考えを表現できる。	療養者・家族の状況から必要な看護の意味を考え、考えを表現することが不十分である。	療養者・家族の状況から必要な看護の意味を考え、考えを表現できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・療養者の思い ・家族の思い ・健康上の課題 ・もてる力 			
	3) 訪問看護の目的を理解し、マナーを守り訪問できる。	・介護状況 ・週間予定 ・社会資源図式 ・援助計画	訪問看護に必要なコミュニケーションや接遇の意味を考え、考えを表現できる。	訪問看護に必要なコミュニケーションや接遇の意味を考え、考えを表現することが不十分である。	訪問看護に必要なコミュニケーションや接遇の意味を考え、考えを表現できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問目的 ・挨拶や振る舞い ・説明と同意 ・権利擁護 			
	4) 訪問看護師が行っている看護の意味を考え、できることを実践している。	インパクトノート 振り返り用紙 カンファレンスでの発言 ノート	積極的に訪問看護師に声をかけながらできることを行っている。	訪問看護師が行っている看護の意味を考え、できることを行っている。	自己の考えが見えずに、訪問看護師の指示のもとに行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・フィジカルアセスメント ・生活ケア ・医療的ケア 			
	5) 家族・介護者への支援の大切さを学んでいる。	ポートフォリオ	家族・介護者への支援について気づきを表現できる。	家族・介護者への支援について気づきを表現することが不十分である。	家族・介護者への支援について気づきを表現できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の行う介護 ・家族へのねぎらい ・介護指導 			
3. 在宅療養者とその家族を支えるための社会資源の種類・活用状況、多職種との連携について知る。	6) 在宅療養者とその家族を支えるための社会資源の種類・活用状況、多機関・多職種との協働の大切さを学んでいる。		既存学習と照らし合わせながら、在宅療養者とその家族を支えるための社会資源の種類・活用状況、多機関・多職種との協働について表現できる。	既存学習と照らし合わせながら、在宅療養者とその家族を支えるための社会資源の種類・活用状況、多機関・多職種との協働について表現することが不十分である。	既存学習と照らし合わせながら、在宅療養者とその家族を支えるための社会資源の種類・活用状況、多機関・多職種との協働について表現できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護制度 (健康保険法、介護保険法) ・地域包括ケアシステム 訪問看護師の役割 ・多機関・多職種との協働 ・主治医、ケアマネジャー、他のサービスの担当者 (連携方法等) 			
4. 学習成果と今後の課題を明確にする。	7) 在宅で療養する療養者と家族の望む生活を送れるよう支援する看護の大切さを学んでいる。	実習振り返り 観察 対話 元ポートフォリオ 凝縮 ポートフォリオ 成長報告書	在宅で療養する療養者と家族の望む生活を送れるよう支援する看護について表現することができる。	在宅で療養する療養者と家族の望む生活を送れるよう支援する看護について表現することが不十分である。	在宅で療養する療養者と家族の望む生活を送れるよう支援する看護について気づくことができていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活者 ・療養者・家族の意思・希望 ・自己決定 ・セルフケア ・QOL ・訪問看護とは ・多機関・多職種協働 			